

精神科

研修は下総精神医療センターで行う。

将来に精神科医になろうと思っている人、精神科医かその他の科に進むか迷っている人、その他に進むつもりだが、精神科の経験をこの期間だからこそ積みたいと考えている人、では同じ期間であっても違ってきますので、研修を開始前にそれぞれ個別にご相談したいと考えています。

研修目標

1. 精神科診察法を身につけ、精神症状や所見などが正確に把握できるようになる。
当初は入院患者さんの副主治医となり、診察をして症状把握や所見が取れるようになる。
リエゾン診察に立ち会う。
外来患者さんの予診をとるなど。
2. 精神科特殊検査法を習得し、結果を解釈できるようになる。
脳波、心理テストなど。
3. 精神科治療法を決定し、実施できる。
治療法の選択、薬物療法の実際、副作用の把握、効果判定の経験。
当初は知ることから、2 か月目からは治療を選択や薬物療法の薬の選択など指導医の下で、実践してみる。
4. 精神科チームの実践として、様々な医療スタッフと協調・協力し、的確に情報を交換して問題に対処できる。
他業種参加のカンファレンスに参加。
5. 具体的な精神疾患
気分障害、統合失調症、不安性障害、身体表現性障害、解離性障害、認知症疾患、器質性精神病、症状精神病、せん妄、アルコール関連障害、睡眠障害など。
いろいろな疾患が経験可能であるが、特に将来精神科以外の科に進もうと考えている先生方には、精神科以外の科でも多く接することになると思われる気分障害、神経症圏内、認知症疾患、せん妄などを積極的に経験していただく。
6. 緩和ケアチーム回診に参加
7. 将来精神科医師を目指す先生方には、日本精神神経学会の研修病院に認定されており、将来専門医資格取得に備えての症例経験をを得る。精神保健指定医を目指しての症例を副主治医として経験を積み、精神保健法の理解を進める。